XDWMGXDW 簡易マニュアル

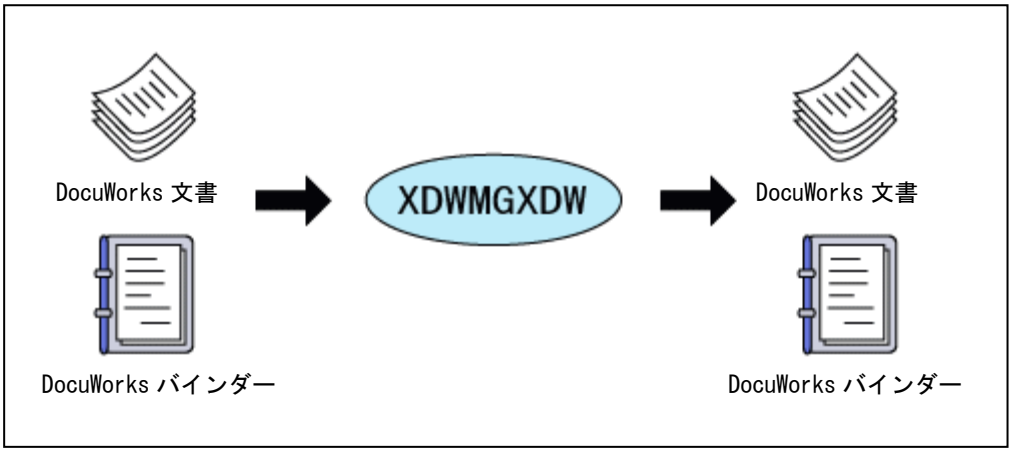
XDWMGXDW は XDW/XBD ファイルに対してさまざまな編集(ファイル合成、ページ抽出/削除/差し替え、セキュリティ等)、アノテーション合成、バーコード合成などを行います。

Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500　FAX：045-442-0501
URL：https://www.kernelcomputer.co.jp

製 品 概 要

XDWMGXDW は、DocuWorks 文書の編集、バーコードの貼り付けなどを行います。



動 作 環 境

【対応 OS】
- Windows 10 [32bit/64bit]
- Windows 11
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- Windows Server 2025

【対応 DocuWorks】
- DocuWorks 7 日本語版
- DocuWorks 8 日本語版 (※8.0.3 を除く)
- DocuWorks 9 日本語版
- DocuWorks 9.1 日本語版
- DocuWorks 10 日本語版

※ 動作環境は、富士フイルムビジネスイノベーション社製品 DocuWorks の動作環境に準じます。
※ マルチスレッドからの並列実行や、サービスプログラム(ユーティリティプログラム)の利用には対応していません。
※ サブスクリプション版の DocuWorks には対応していません。

価　　格

◇25 万円 （税抜き）

機　　能

[ページ操作(合成, 削除, 抽出など)]
- フォルダ内の XDW ファイルを一つのファイルに合成します。
- XDW ファイルの任意のページを削除します。
- マルチページの XDW ファイルを指定したページ数で分割します。
- マルチページの XDW ファイルの指定ページを別の XDW ファイルに出力します。(抽出)
- マルチページの XDW ファイルの指定ページを移動します。(m ページを n ページへ移動する)
- マルチページの XDW ファイルの指定ページを任意の XDW ファイルに差し替えます。
- フォルダ内のバインダーファイルを一つに合成します。
- 複数のバインダーファイルを一つに合成します。

[マルチファイルを一括処理]
- フォルダ内の XDW(または XBD)ファイルを一つのファイルに合成します。
- 複数の XDW(または XBD)ファイルを一つのファイルに合成します。
- 合成する XDW(または XBD)ファイルのリストをテキストファイルで指定して合成します。
- バッチファイルで指定されたファイルまたはフォルダ内のファイルを一括処理します。

[アノテーション合成]
- バーコード　・テキスト　・付箋　・ビットマップ　・日付印
- 直線　　・矩形　　・楕円　・多角形　　・マーカー
- リンク

※バーコードアノテーションは弊社独自のバーコード作成ソフトを使用しています。
※子アノテーションを保持した付箋アノテーションを貼り付けることができます。
※複数個のアノテーションを一括で貼り付けることが可能です。

[アノテーション削除]
- 指定した種類のアノテーションを XDW(または XBD)ファイルから削除します。
- 削除する対象のページを指定することができます。

[オリジナルデータを添付、取り出す]
- 任意のデータを XDW ファイルに添付します。
- XDW ファイル内の添付ファイルの取り出しを行います。

[加工・編集・抽出]
- XDW ファイル内の指定ページを回転します。
- XDW ファイル内の指定イメージページを(文字方向で)自動正立します。
- XDW ファイル内の指定ページをイメージ形式に変換して、新しい XDW ファイルを作成します。
  (解像度、用紙サイズや圧縮モードなど指定可能)
- XDW ファイル内の指定イメージページのノイズ除去を行います。
- XDW ファイルの「文書のプロパティ」に対し、情報の設定や取得を行います。

[比較]
- 2 つの XDW(または XBD)ファイルをイメージ化して比較します。

[セキュリティ]
- XDW ファイルにセキュリティ機能(パスワードにより保護)を設定します。

[バインダー]
- バインダーの作成を行います。
- バインダーに XDW ファイルを挿入します。
- 複数のバインダーを合成します。(フォルダまたは合成リストにより一括合成が可能)
- バインダーの内部文書の取り出し、削除、文書名の取得や文書名の設定を行います。
- バインダーをばらします。

基 本 操 作

XDWMGXDW は、コマンドラインアプリケーションです。
通常のコマンドと同じように、コマンドラインから実行したり、バッチファイルに組み込んだりすることができます。

ここでは、直接コマンドラインから入力して実行する場合の基本的な操作手順を示します。

変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
> XDWMGXDW ［変換前のファイル名］ -O[変換後のファイル名］ ［オプション］
```

-O は、マイナス記号とアルファベットの「オー」です。
大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、-O と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じ名前を指定することはできません。

例えば、**sample.xdw** に対して、1 ページ目を削除して **sample_2.xdw** に変換するには、次のように入力します。

```
> XDWMGXDW  sample.xdw  -Osample_2.xdw  -DELPAGE1
```

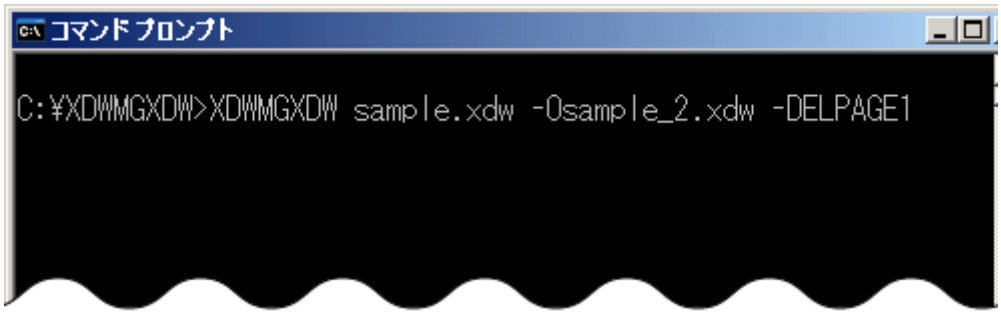
正常に変換できた場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコード 0 が返されます。

```
XDWMGXDW 変換終了
```

エラーの場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコードとして 0 以外の値が返されます。

```
XDWMGXDW 変換エラー
```

これ以外のエラーメッセージが出ることもあります。



コマンドラインからの実行例

編集オプション

XDWMGXDW は、さまざまな編集オプションを提供しています。

編集オプションの概要

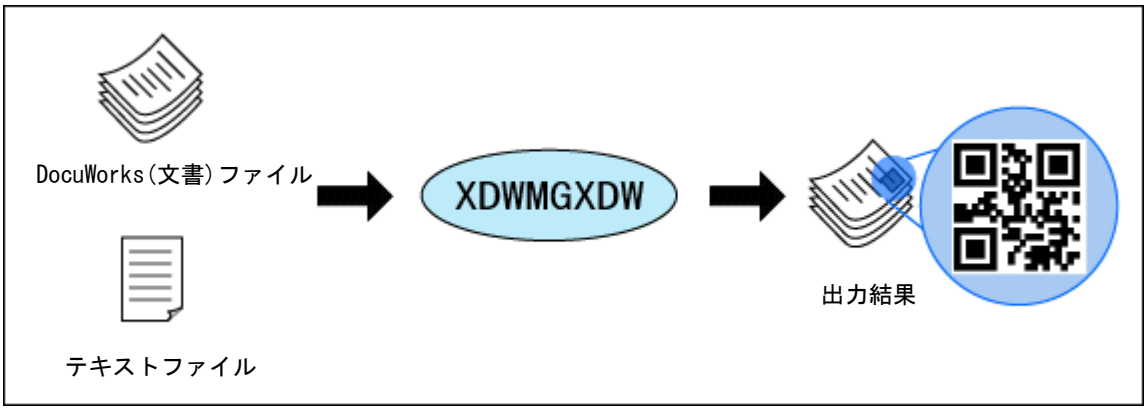
・XDW ファイルにテキストやビットマップ等のアノテーションを貼り付けます。
・XDW ファイルにバーコードアノテーション(ビットマップ)を生成して貼り付けます。
・XDW ファイルに透過モードのテキスト(ウォーターマーク)を合成します。
・指定した XDW ファイルのページを回転し、新しい XDW ファイルを作成します。
　指定できる回転角度は、「90」,「180」,「270」のみです。
・指定した XDW ファイルのイメージページを自動的に正立し、新しい XDW ファイルを作成します。
　イメージ文書に対してのみ有効であり、アノテーションがある場合は、処理できません。
　自動正立できないページは、元のまま出力されます。
・テキストファイルで指定したファイルを XDW ファイルに添付します。
・XDW ファイルの添付ファイルを取り出します。
・指定した XDW ファイル(イメージ文書)内のノイズを除去します。
・XDW ファイルを結合します。
・指定した XDW ファイルの任意ページにその他の XDW ファイルを挿入します。
・既存の XDW ファイルに重ねて(連結)出力します。
・XDW ファイルの指定ページを削除します。
・XDW ファイルがマルチページの場合、分割して出力します。
　分割するページ数(分割単位)を指定することもできます。
・XDW ファイルの指定のページを抽出し、別の一つの XDW ファイルを作成します。
　複数ページを抽出することも可能です。抽出するページごとにファイルを出力するか、もしくは一つのファイルにまとめて出力することも可能です。
・XDW ファイルの指定したページ(page1)を移動先(page2)へ移動します。
・XDW ファイルの指定ページを別の任意の XDW ファイルに差し替えます。
　オリジナルデータを出力ファイルに添付することができます。
・アプリケーション文書の XDW ファイルからテキスト情報を抽出してテキストファイルに出力します。
　制限事項：
　　・テキスト注釈の情報は出力されません。
　　・データに現れる順序通りに出力する為、必ずしも見た目の順番通りに出力されるとは限りません。
　　・テキストの改行の位置が一致しない場合があります。
・XDW ファイルの「文書のプロパティ」に対し、情報の設定や取得を行います。

・XDW ファイルのイメージページを指定して、OCR を行い、認識したテキスト情報をテキストファイルに出力します。
・バインダーを作成します。
・バインダーに XDW ファイルを挿入します。
・バインダーの内部文書を取り出します。
・バインダーの内部文書を削除します。
・バインダーの内部文書の文書名を取得します。
・バインダーの内部文書の文書名を設定します。
・バインダーファイルを合成します。(フォルダ、合成リストを指定して一括合成も可能です。)
・バインダーをばらします。
・ログファイル、履歴ファイルなどを出力します。
・入力ファイルの情報、属性などを出力します。(出力項目[(ファイル名,ページ数,ファイルの種類やページサイズ等)]は、選択可能です。)
・バッチファイルで指定されたファイルまたは、フォルダ内のファイルを一括処理します。

変 換 例

（例１） DocuWorks(文書)ファイルにバーコードアノテーションを貼り付けます。
バーコードはテキストファイルで定義し、弊社独自のバーコード作成ソフトを利用して、
バーコードイメージを作成します。
(オプション名:-BC)

```
(実行例)
  XDWMGXDW sample.xdw -Osample_2.xdw -BCbarcode.txt
```

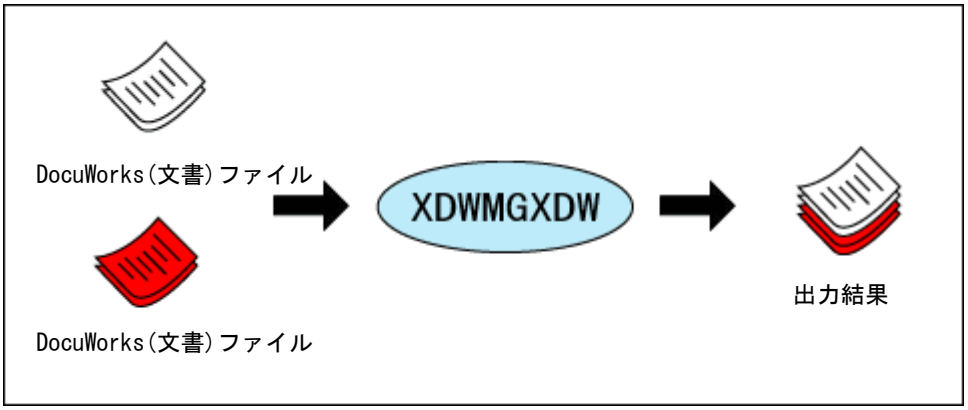


（例２） DocuWorks(文書)ファイルの 3,4 ページを抽出します。
(オプション名:-GETPAGE)

```
(実行例)
  XDWMGXDW sample.xdw -Osample_2.xdw -GETPAGE3,4
```

（例３） 2 つの DocuWorks(文書)ファイルを合成します。

```
(実行例)
  XDWMGXDW sample_1.xdw sample_2.xdw -Osample_out.xdw
```



制限事項

・一部の機能についてはご使用の DocuWorks のバージョン、環境によって動作が異なります。
作成される XDW ファイルについてはご使用の DocuWorks の機能に依存します。

・DocuWorks ファイルにアノテーションが含まれている場合、回転処理はできません。

・同名ファイルの合成はできません。

・入力ファイルがセキュリティで保護されている場合、正常に処理できない場合があります。

・変換オプションは、一部併用できない組み合わせがあります。

・-MFILE オプションは他のオプションと同時に使用できません。

・-TXO でテキストを出力する場合、テキスト注釈の情報は出力されません。
データ順に処理を行う為、見た目の順番通りに出力されない場合があります。
TEXT の改行位置が一致しない場合があります。

・-DELPAGE と-INSERT を同時に使用することはできません。

・使用する変換の機能によってワイルドカードを利用する場合、一括変換(バッチ処理)できない場合があります。

・インストールしている DocuWorks のバージョンと処理対象の DocuWorks データのバージョンが異なる場合、
処理できない場合があります。

・DocuWorks 9 以降で OCR 機能を利用する場合は、別途 OCR ライセンスが必要となります。